

発行: 保育園給食を考える荒川区民の会 代表者 筑本 知子

<http://www.chikuchans.com/hoikuen-kyushoku>

(E-mail: hoikuen-kyushoku@chikuchans.com)

原保育園と荒川さつき保育園の保育園給食調理の民間委託がいよいよ4月1日から開始の筈でしたが……

3月14日現在 まだ委託業者が決まっていないようです！

→ 委託開始は6月1日に延期の方向で検討中

業者選択までの流れと現在の状況

1. 入札までの流れ

① 委託業者推薦会の設置(1月～2月)

- ・ 構成メンバー: 担当課職員、保育園長、保健所職員、外部有識者(大学助教授)
- ・ 業者推薦基準: 都内で0歳児園2年以上の経験、社員数、出資金
責任者は保育園の0歳児の経験と栄養士の資格を保有、食中毒事故の有無等

② 推薦会で推薦された業者により指名競争入札

第一回目2月26日: 入札に参加したすべての業者が区の予定価格を上回ったため、落札業者なし→第二回目へ

第二回目3月9日: 予定価格を上げて臨んだものの、入札に参加した会社すべてが入札を辞退したため×。

→ 辞退の主な理由は仕様書に示される人員体制がとれない(すでに他の区の委託を受けてしまったため該当の人(とくに0歳児の調理経験がある人)がいない。)ためようです。

2. 現在の状況

- ・ 入札で2園とも業者が決まらなかったため、入札に参加した業者に個別に交渉を行っているところ
(保育園給食の委託業者の状況が変化しているので、仕様の見直しを検討という言葉も！?)
- ・ 引継ぎ期間等を考えると現状では4月1日開始は無理なので、委託開始を6月1日に延期の方向で調整中。(4-5月は直営で給食調理を行う予定)

当初の予定

- 12月 業者推薦会の開催、調査開始
- 1月中 契約の準備(仕様書の作成)
非常勤栄養士の募集
- 2月 指名競争入札で業者決定
契約
- 3月 委託業者研修(引継ぎ)
- 4月 委託開始

こんな状況で6月1日からの給食は大丈夫？

守ってください！私たち親に説明したことを。

委託についての事前説明の時、「業者の質の水準の確保」のため、

〔主任〕正社員であり栄養士免許を有し、0歳児保育を行う保育園での経験が2年以上。

〔副主任〕正社員又は常勤社員であり栄養士免許または調理師免許を有すること。

及び保育園給食又は病院調理業務経験2年以上。

の条件を課すと区は説明しています。「その条件ならば」と納得した親もいます。

なし崩し的に、この条件を外すとしたら、それは親たちの信頼を裏切る行為です。

入札辞退の主な理由が「この条件を満たす人員体制がとれない」ということのようにですが、今いない人材が、6月1日になったら確保できるのでしょうか？

そもそも、0歳児の給食を民間委託している区は少ししかありません。それだけ、離乳食の調理は熟練が必要ということなのです。なのに……。外食なら親が実際に見て選ぶことができます。まずかったらその店で食べないという選択もできます。でも保育園の給食内容は親がいちいち確認できません。親が今区にお願いできるのは、「一定水準以上の給食を提供できるような人員体制の確保」だけです。

1年目からあった不安材料

去年の入札も辞退続出だった

平成18年度は、指名競争入札で業者選定を行いました。選定委員会で選定した業者は5社でした。

入札の際、2園とも1回目の入札で、すべての業者が区の予定価格を上回ったため×。2回目の入札では、先に入札が行われた三河島保育園は3社が入札辞退し、残った2社でより低い価格を示した「(株)藤江」と随意契約。次のひぐらし保育園は藤江が最初から入札辞退、さらに2社が辞退して入札に参加したのは2社。こちらも結果的にはより低い価格を示した「(株)富士産業」と随意契約になりました。

1つの園で8ヶ月間に副主任2人、パートが3人入れ替わりました

委託開始前に区が主催した説明会で、父母から、「民間委託すると調理士さんがどんどん入れ替わる。十分な習熟期間がとれないため、まともに給食が出てこなかったりした例がある。」という、調理士の入れ替わりの激しさを問題視する意見が数多くだされました。

今年度既に委託された一方の園では5月、6月に相次いでパート職員が入れ替わり、8月には副主任が会社の事情で異動、さらに10月に私事都合で退職しています。(12月末時点までの状況)「給食はちゃんと出てるから問題ない」と区は言いますが、親が一番不安に感じていたことが、委託開始早々からおきていることに、大きな不信感を持ちました。

「サービス向上を効率的に行うために、民間委託をすすめる」というのが区のキャッチフレーズです。しかし、現状はサービス向上以前に「安心して食べられる給食」を出してもらえるのかが不安な状況です。今回委託先が見つかったとしても、何か問題があった時に替わりの業者がすぐに見つかる保証もありません。

委託先の基準を下げてまで、無理やり民間委託をすすめていくことを私たちは納得できません。こんなことで私たちは子どもたちを犠牲にしたくありません。

「保育園給食を考える荒川区民の会」
は子どもたちのためのよりよい保育園給食を考える会です。
現在保育園の親の他保育園に関わるいろいろな方が参加しています。
多くの方のご参加をお待ちしています。